

3月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇 榎夫 市長

平成21年第1回定例会が3月4日に開会された。定例会初日には、議長・各特別委員会委員長の報告、また、門脇市長より各課関連の行政報告があった。行政報告から抜粋して掲載する。



市営バス運行

市営バスの 運行再編

昨年九月の香美市内地域交通対策検討委員会からの最終答申に基づき、市において再編原案の作成を行い、香北・物部地区自治会長会や山田・香北・物部の各地域審議会に説明を行った。また、新設路線については沿線関係自治会に対して個別説明会を開催し、住民

の皆様方からのご意見やご提案も参考にさせて頂いた。また、再編案の作成を終了した。

なお、今議会には、平成二十一年四月一日から再編される市営バス事業での運行開始に向けて、市営バス事業にかかる条例改正議案とあわせ、関係予算も提案している。新規路線は、不寒冬線・西又線・岩村線・町田線・神池線である。

三谷地区 集会所

三谷地区集会所建設については、昨年十二月に工事を発注し、順次作業が進められている。

平成二十一年度から指定管理者として、地域住民で組織する「三谷地区集会所運営委員会」による管理運営を予定しており、「集会所を中心にして、地域

防災や地域活性化等の課題に対し、地域住民が自主性をもって積極的に取り組んでいく」との計画書が提出されている。今後の地域活動の拠点施設として大いに活用されるものと期待している。

自主防災 組織の設立

市内自主防災組織の設立について、各地域並びに自治会長会において説明会等に努め二十年度は七組織が立ち上がり、市全体で七四組織、組織率約三八・八%となった。

地域の高齢化が進んでおり、思ったように設立数が上がらないが、引き続き精力的に地域へ入り、説明会、話し合い等を行い、設立に努める。

地域雇用 戦略チーム

昨年九月から香美市

地域雇用戦略チーム会議にて、地域雇用創造推進事業と地域雇用創造実現事業について協議を行った。それぞれ雇用創造に係る効果が高いと認められる協議会に対して委託されるもので、三年間の事業である。推進事業は、雇用を生むための研修事業を行い、実現事業は、雇用の機会を増大する効果が見込まれる地域の産業や地域経済の活性化等への取り組みに対して、推進事業で育成をした人材等を活用する事業である。本市としては、農業等の受委託事業、伝統産業の継承や海外展開、鹿肉を含む地域資源の特産品作り、観光事業の拡大などに取り組む。以上の結果を厚生労働省へ申請するこ

ととしている。

また、高知県緊急雇用創出臨時特例基金事業は、六件の事業（二千五百九十万円）を計画しており、ふるさと雇用再生特別基金事業については、現在検討中である。

物部町に 介護施設を

第三期計画で物部町へ施設整備を計画していた介護保険施設は、第三期期間中に整備ができていない。

第四期介護保険事業計画（平成二十一年度から同二十三年度）を策定する策定委員会において協議検討した結果、引き続き施設整備の計画を前提とした介護保険料を設定するための見込み料を給付費に盛り込んだ。施設は、定員二十九人以下の地域密着型老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

であり、本計画期間中に実現できるよう取り組む。

建設都計 関係事業

まちづくり交付金事業で取り組んでいる秦山公園第四駐車場整備工事は順調に進んでおり、年度内に完了予定である。駐車台数は九十一台を予定している。

市営住宅について、黒土二号団地の市営住宅建築工事は、外構工事と遊具設置などを残すのみとなっており、年度内完了予定である。また、土木工事については、辺地事業で取り組んでいる市道・後入線・有谷線・谷相線の工事は完了した。過疎事業で取り組んでいる市道・猪野々西線の用地測量委託業務は完了し、市道・大平南岸線の改良工事は年度内完了の予定である。

新エネルギー ビジョン

平成十九年度に完成した基本方針を基に、香南市と協議を重ね、新エネルギー導入促進のために未利用森林バイオマスの利用による

地域活性化と低炭素社会の実現を目指した新エネルギービジョンの策定が、NEDO技術開発機構の助成を受け進められていたが、このたび完成した。

概要は、木質バイオマス導入による経済効果、持続可能な事業化システムの構築、事業化に向けた経済性の試算などが盛り込まれている。

全国体力 テスト

文部科学省が小学五年生と中学二年生を対象に初めて実施した

「全国体力テスト」が一月二十一日に公表され、本県は学力につきき体力でも子どもたちを取り巻く厳しい状況が明らかになった。本市も同様の厳しい結果となっている。

本県、本市の子どもは、本市の子どもの体格、運動能力が全国平均を下回っていることは、以前から指摘されていたが、今回の体力テストでは、児童生徒の生活・運動習慣や学校への調査も実施されており、分析とともに今後の対応について検討を進めている。

なかよし保育園 が完成

「なかよし保育園」

は、予定どおり園舎等がほぼ完成した。敷地面積は約五七〇〇平方メートルで、建築面積が約二二〇〇平方メートルとなっている。園舎は、本市産木材を使った木造平屋

建てで、園児の安全を守る各種警備システムや高い耐震性を誇る構造等を取り入れた施設となっている。

また、保育園には一時保育や子育て相談等のサービスを提供する「子育て支援センター」を併設し、本市の子育て支援の中核施設として期待するものである。

百年を迎えた 平山発電所

一九〇九年（明治四十二年）二月十一日、高知県初の水力発電所「平山発電所」が営業運転を開始してから、今年で丁度百年を迎え

たことから、二月十一日、RKCホールにおいて記念シンポジウムが開催された。写真や絵画コンテストの表彰や、県内の電気事業の歴史紹介、明治大学理工学部の北野大（きたの まさる）教授による講演が行われ、本市からは大宮小学校や香長小学校を含む県内四小学校の生徒による「わが町わが村の水力発電所」と題した地域の特産や自慢を交えた元気いっぱい発表が行われた。

四月五日には、地元平山地区において桜まつりと併せた「地元感謝祭」が予定されている。

